様式３(2020.08改)

作成日　令和　3年　4月　26日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391500580
事業所名	グループホームかなれ翔裕館

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会に加入し、回覧板で情報を得ている。資源回収に協力し地域の一員としてのつながりや地域の商店、飲食店などの利用、散歩時や近隣の方との挨拶、地域サロンの参加など地域とのつながりを大切にしているが、新型コロナウイルスの感染防止のため日々の散歩も含め自粛状態となっている。中学生の職場体験の受け入れや、大正琴や踊りなどの地域ボランティアの受け入れも中止としているが、今後収束に向かえば交流を再開する予定としている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	今年度は、新型コロナウイルスの感染予防のため書面による開催としている。例年では、入居者家族、自治会長、民生委員、連携病院の相談員、薬剤師、いきいき支援センターの職員の参加を得て年6回実施し、運営状況や活動内容の他にテーマを決めて毎回勉強会を実施し、サービスや技術の向上に活かしている。今年度はコロナ禍と同時期に管理者の交代により、職員参加のもとに書面での開催としているが、案内や議事録を行政や地域関係者に配布をしていない。例年通り、案内や議事録を行政や地域関係者に持参したり、送付するなどして、コロナ禍における事業所の取り組みなどの理解や地域情報などの収集を得られる機会としていくことを課題としている。	×
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	行政担当窓口には介護保険更新の手続きや申請の代行業務、市の助成金などの手続き等で訪問した折に、情報交換をしたり入所事例などで指導や助言を得るなど良好な協力関係を築いている。コロナ禍により市主催の事業者講習会や研修は中止となっている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	入居者からは日々の関わりの中から思いを聞き、申し送りノートに記録して職員間で共有しケアにつなげている。家族には電話で入居者の日々の様子を伝えたり要望等を聞いたりして、運営に反映させているが、コロナ禍により家族の面会が難しい状況が続いているため入居者の様子が家族に伝わりにくくなっている。入居者と家族を繋ぐラインとして、電話連絡だけに留まらず、家族に送付するお便りなどにコメントや写真などを利用して入居者の日常の様子などを伝えたり、携帯やタブレットなど家族が対応できる方法を工夫し、家族に安心を届けられる仕組みや、得られた要望や意見を丁寧に適切に受け止め、明確な受け答えや説明を重ね、話しやすく相談しやすい関係や信頼感が保てる人的環境も整えていくことを課題としている。	×
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		×

【備考欄】

運営推進会議は新型コロナウイルス禍において書面での開催とし、会議録などを通して家族との情報のパイプが途切れないよう努めているが、地域との関わりは希薄になっている。家族や友人の訪問を自粛している。家族からは届け物の時や必要に応じて電話で入居者の日々の様子を伝えたり要望等を聞いたりしてケアに活かしているが、家族からの反響は好ましくない。生活の楽しみである食事は、コロナウイルスの感染予防のため現状では盛り付けや準備や後片付け、おやつ作り など自粛状態となっている。また、日々の散歩も自粛しているが、天気の良い日には屋上テラスで日光浴など外気に触れる機会を大切にしたケアに心がけている。

１．外部評価軽減要件

① 別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

② 運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④ 別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ① 運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ① 家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	×										